「令和4年度京都府がん検診受診率調査」報告書

目次

調査設計	• • •	3	〈乳がん検診〉	
回答者の割付・集計について	• • •	4	「乳房エックス線検査(マンモグラフィ)」の受診率	••• 18
回答者プロフィール	• • •	7	「乳房超音波検査(エコー)」の受診率	··· 19
調査結果詳細	• • •	9	「乳房視触診検査」の受診率	20
がん検診の受診状況 全体的な傾向	• • •	10	乳がん検診(国民生活基礎調査と同条件)の受診率	··· 21
〈胃がん検診〉			〈子宮頸がん検診〉	
「胃部エックス線検査(バリウム検査)」の受診率	• • •	11	「細胞診検査」の受診率	22
「胃内視鏡検査(胃カメラ検査)」の受診率	• • •	12	がん検診を受けたきっかけ	··· 23
「胃がんリスク検査、A B C検査」の受診率	• • •	13	がん検診を受けなかった理由	25
胃がん検診(国民生活基礎調査と同条件)の受診率	• • •	14	がん検診を受けようと思う施策	••• 27
〈肺がん検診〉				
「胸部エックス線検査(レントゲン検査)」の受診率	• • •	15		
「喀痰細胞診」の受診率	• • •	16		
〈大腸がん検診〉				
「便潜血検査」の受診率	• • •	17		



調査設計

健康長寿日本一の実現のためには、疾病を早期に発見し、適切に治療することが重要であり、 特に受診率の低いがん検診について向上対策が必要である。 調査目的 そのため、がん検診の受診状況のデータを分析し、受診率向上対策の基礎資料とするとともに、その結果を公表することを 目的とする。 調査エリア 京都府 府内に居住地を有する 調查対象者 ・ 20歳以上70歳未満の女性 ・ 40歳以上70歳未満の男性 サンプル数・割付 サンプル数:4,000サンプル 調査期間 2022年10月11日(火)~2022年10月19日(水) 調査手法 クロス・マーケティングモニターへのインターネット定量調査 調査機関 株式会社クロス・マーケティング



回答者の割付・集計について

回答者の割付・集計について

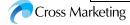
本アンケートでは、地域別(保健所単位、京都市内・乙訓地域・山城北地域・山城南地域・南丹地域・中丹西地域・中丹東地域・丹後地域)に区切った層に分け、地域別で100名以上、合計で約4,000名の回答者数を集めたため、結果の集計に際しては、令和2年国勢調査における人口構成比へのウェイトバック(令和2年国勢調査における各層の人口・各層の回収数 = ウェイト値回収票に乗じる方法)を行い集計した。

割付			人口 (令和2年)	構成 国勢調査)	調査回	回収数	ウェイトバック値	ウェイトバック後の割付数		
性別	年齢	居住地	人口	割合 (%)	人数	割合 (%)		人数	割合 (%)	
		京都市内	96,941	7.83	306	7.65	1.02332899	313	7.83	
		乙訓地域	11,758	0.95	46	1.15	0.82566682	38	0.95	
		山城北地域	31,708	2.56	121	3.03	0.84647218	102	2.56	
	40-49歳	山城南地域	9,034	0.73	39	0.98	0.74824649	29	0.73	
	40-49病	南丹地域	8,385	0.68	26	0.65	1.04173901	27	0.68	
		中丹西地域	5,502	0.44	19	0.48	0.93539748	18	0.44	
		中丹東地域	7,831	0.63	29	0.73	0.87226498	25	0.63	
		丹後地域	5,490	0.44	13	0.33	1.36413767	18	0.44	
	50-59歳	京都市内	88,497	7.15	500	12.50	0.57172575	286	7.15	
		乙訓地域	9,803	0.79	70	1.75	0.45236622	32	0.79	
		山城北地域	26,638	2.15	175	4.38	0.49169158	86	2.15	
男性		山城南地域	7,289	0.59	50	1.25	0.47089833	24	0.59	
カエ		南丹地域	7,808	0.63	39	0.98	0.64670230	25	0.63	
		中丹西地域	4,733	0.38	24	0.60	0.63702206	15	0.38	
		中丹東地域	6,763	0.55	38	0.95	0.57489032	22	0.55	
		丹後地域	5,859	0.47	29	0.73	0.65261148	19	0.47	
	60-69歳	京都市内	73,873	5.97	333	8.33	0.71658995	239	5.97	
		乙訓地域	7,516	0.61	41	1.03	0.59215053	24	0.61	
		山城北地域	23,406	1.89	115	2.88	0.65744370	76	1.89	
		山城南地域	6,785	0.55	37	0.93	0.59234856	22	0.55	
		南丹地域	8,891	0.72	31	0.78	0.92644176	29	0.72	
		中丹西地域	4,721	0.38	12	0.30	1.27081392	15	0.38	
		中丹東地域	6,791	0.55	22	0.55	0.99710354	22	0.55	
		丹後地域	6,734	0.54	15	0.38	1.45014377	22	0.54	



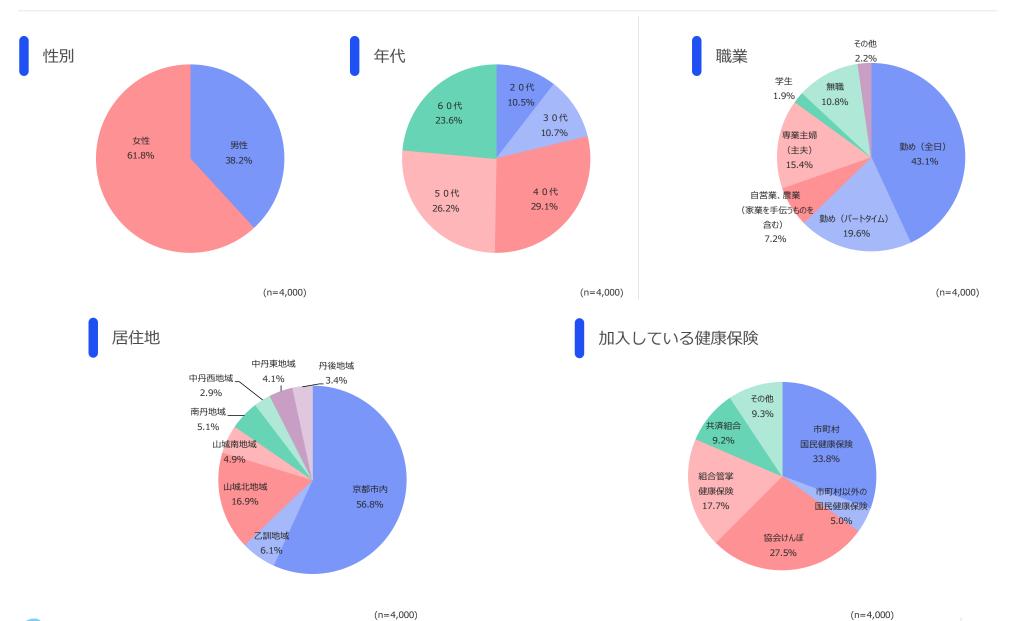
回答者の割付・集計について

割付			人口 (令和2年	構成 国勢調査)	調査回	回収数	ウェイトバック値	調査回収数	
性別	年齢	居住地	人口	割合 (%)	人数	割合 (%))	人数	割合 (%)
		京都市内	84,902	6.86	150	3.75	1.82833541	274	6.86
		乙訓地域	6,539	0.53	12	0.30	1.76018899	21	0.53
		山城北地域	19,441	1.57	36	0.90	1.74439691	63	1.57
	20-29歳	山城南地域	5,007	0.40	10	0.25	1.61736038	16	0.40
	20-29成	南丹地域	5,394	0.44	10	0.25	1.74236906	17	0.44
		中丹西地域	2,792	0.23	6	0.15	1.50311903	9	0.23
		中丹東地域	3,702	0.30	7	0.18	1.70831354	12	0.30
		丹後地域	2,255	0.18	3	0.08	2.42803252	7	0.18
		京都市内	78,759	6.36	252	6.30	1.00955239	254	6.36
		乙訓地域	8,881	0.72	29	0.73	0.98922044	29	0.72
		山城北地域	20,479	1.65	72	1.80	0.91876715	66	1.65
	30-39歳	山城南地域	6,694	0.54	22	0.55	0.98286130	22	0.54
	30-39成	南丹地域	5,948	0.48	17	0.43	1.13018944	19	0.48
		中丹西地域	3,876	0.31	14	0.35	0.89430352	13	0.31
		中丹東地域	4,782	0.39	14	0.35	1.10334351	15	0.39
		丹後地域	3,504	0.28	12	0.30	0.94321796	11	0.28
		京都市内	103,188	8.33	305	7.63	1.09284499	333	8.33
女性	40-49歳	乙訓地域	12,143	0.98	39	0.98	1.00575129	39	0.98
		山城北地域	32,486	2.62	110	2.75	0.95396571	105	2.62
		山城南地域	9,663	0.78	28	0.70	1.11476457	31	0.78
		南丹地域	8,284	0.67	24	0.60	1.11495684	27	0.67
		中丹西地域	4,988	0.40	17	0.43	0.94777824	16	0.40
		中丹東地域	7,144	0.58	20	0.50	1.15382690	23	0.58
		丹後地域	5,263	0.43	14	0.35	1.21432390	17	0.43
	50-59歳	京都市内	95,461	7.71	250	6.25	1.23343191	308	7.71
		乙訓地域	10,008	0.81	32	0.80	1.01024457	32	0.81
		山城北地域	27,605	2.23	89	2.23	1.00190594	89	2.23
		山城南地域	8,045	0.65	21	0.53	1.23747366	26	0.65
	30-39成	南丹地域	8,415	0.68	20	0.50	1.35910601	27	0.68
		中丹西地域	4,581	0.37	10	0.25	1.47975392	15	0.37
		中丹東地域	6,469	0.52	16	0.40	1.30600962	21	0.52
		丹後地域	5,953	0.48	11	0.28	1.74812469	19	0.48
		京都市内	81,633	6.59	103	2.58	2.56010478	264	6.59
		乙訓地域	8,594	0.69	14	0.35	1.98288041	28	0.69
	60-69歳	山城北地域	26,967	2.18	45	1.13	1.93575028	87	2.18
		山城南地域	7,630	0.62	12	0.30	2.05386787	25	0.62
	00-09歳	南丹地域	9,475	0.77	10	0.25	3.06061306	31	0.77
		中丹西地域	4,763	0.38	1	0.03	15.38543536	15	0.38
		中丹東地域	7,118	0.57	7	0.18	3.28465040	23	0.57
		丹後地域	6,727	0.54	6	0.15	3.62159086	22	0.54
	全体		1,238,314	100.00	4,000	100.00		4,000	100.00



回答者プロフィール

回答者プロフィール





調査結果詳細

がん検診の受診状況 全体的な傾向

がん検診の検査別受診率は、「胸部エックス線検査」が51%、「便潜血検査」は44%、「乳房エックス線検査」は39%に達するが、 そのほかの項目はおおむね20%台である。

国民生活基礎調査と同条件の受診率をみると、「胃がん検診」は45%、「肺がん検診」は51%、「大腸がん検診」は44%、「乳がん検診」は42%、「子宮頸がん検診」は28%である。

- ※がん検診については、令和3年度(令和3年4月1日~令和4年3月31日。ただし胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診は 令和2年4月1日~令和4年3月31日)の受診状況を調査している(以下同じ)。
- ※記載しているコメント内の反応率は、四捨五入した整数値で表記している。

単位:% 単位:%

	対象者	f(母数)	検査別受診率			指針(※)に基づく検査の受診率			国民生活基礎調査と同条件の受診率		
		対象者数(A)	検査名	受診者数(B)	受診率 (B/A)	対象者	左記の受診者数 (実人数) (C)	受診率 (C/A)	対象者	左記の受診者数 (実人数) (D)	受診率 (D/A)
		3 151	6_1胃部エックス線検査	878	27.9	6_1, 6_2いずれか	1,365	43.3	6_1, 6_2, 6_3いずれか ひとつでも受けた実人数	1,423	45.2
胃がん検診	胃がん検診 男女 40~69歳		6_2胃内視鏡検査	863	27.4	ひとつでも受けた実人数	1,303	-JJ.J			
			6_3胃がんリスク検査、ABC検査	518	16.4						
肺がん検診	男女 肺がん検診 男女 40~69歳	2 151	6_4胸部エックス線検査	1,594	50.6	6_4を受けた実人数	1,594	50.6	6_4, 6_5いずれか	1,602	50.9
701289			6_5喀痰細胞診	245	7.8				ひとつでも受けた実人数		30.9
大腸がん検診	男女 40~69歳	3,151	6_6便潜血検査	1,391	44.2	6_6を受けた実人数	1,391	44.2	6_6を受けた実人数	1,391	44.2
	型がん検診 女性 40~69歳	1 674	6_7乳房エックス線検査	629	38.7	6_7を受けた実人数	629	38.7		685	
乳がん検診			6_8乳房超音波検査	407	25.1				6_7, 6_8, 6_9いずれか ひとつでも受けた実人数		42.2
			6_9乳房視触診検査	401	24.7						
子宮頸がん検診	女性 20~69歳	2,473	6_10細胞診検査	697	28.2	6_10を受けた実人数	697	28.2	6_10を受けた実人数	697	28.2

- ○本調査の受診率は、回答者のうち表中に示したそれぞれの対象年齢の者の人数を分母として算定しており、
- 国が発表する「地域保健・健康増進事業報告」は40~69歳(胃がん検診は平成28年度以降50~69歳、子宮頸がんは20~69歳)の全住民数を分母として算出しているため、 受診率は異なる。
- (※) 指針:「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知別添)

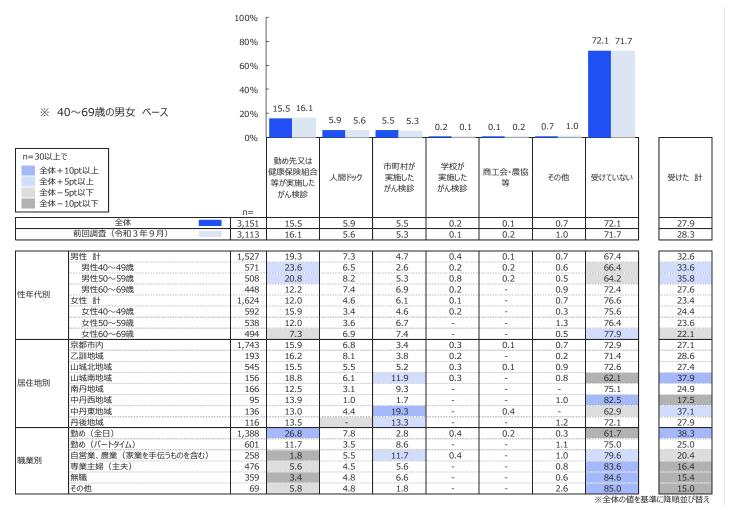


胃がん検診「胃部エックス線検査(バリウム検査)」の受診率

胃部エックス線検査(バリウム検査)の受診率は、全体で28%。

受けた場所は「勤め先又は健康保険組合等が実施したがん検診」が16%で最も高い。

性年代別では男性で高く、特に男性50~59歳で36%と受診率が最も高い。居住地別では、山城南地域で38%と最も高い。



Q6 1 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/ 胃部エックス線検査 (バリウム検査) (SA)

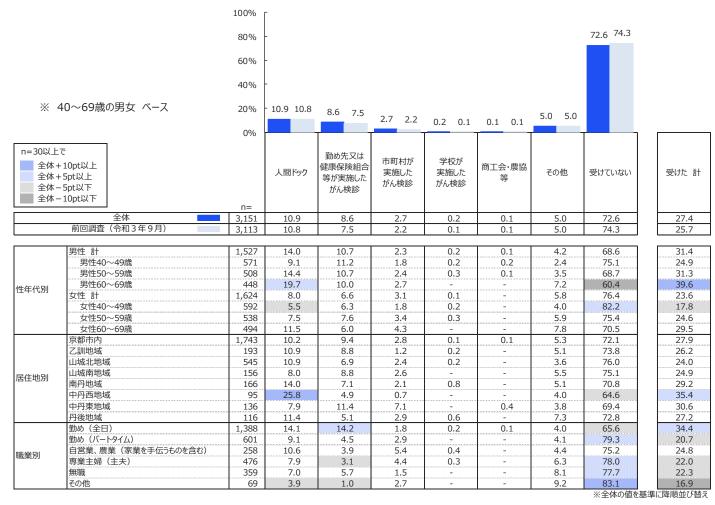


胃がん検診「胃内視鏡検査(胃カメラ検査)」の受診率

胃内視鏡検査(胃カメラ検査)の受診率は、全体で27%。

受けた場所は「人間ドック」が11%で最も高い。

性年代別では、男性60~69歳で40%と受診率が最も高い。一方、女性40~49歳では18%にとどまる。



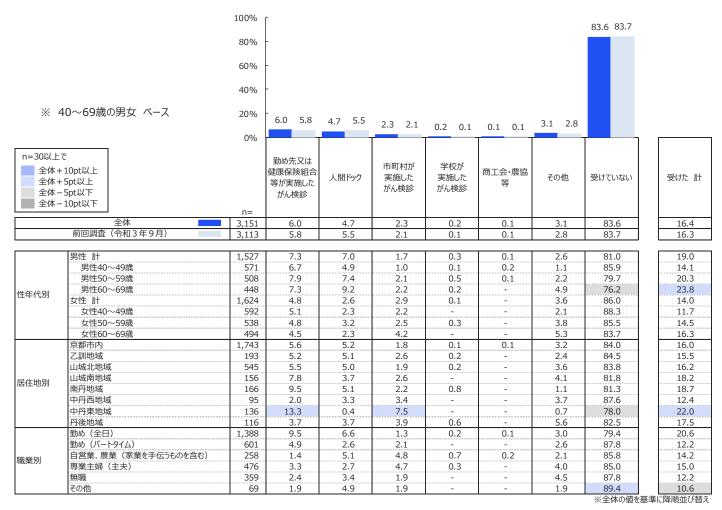
Q6 2 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/胃内視鏡検査(胃カメラ検査)(SA)



胃がん検診「胃がんリスク検査、ABC検査」の受診率

胃がんリスク検査、ABC検査の受診率は、全体で16%。

性年代別では、男性60~69歳で24%、居住地別では、中丹東地域で22%と最も高い。

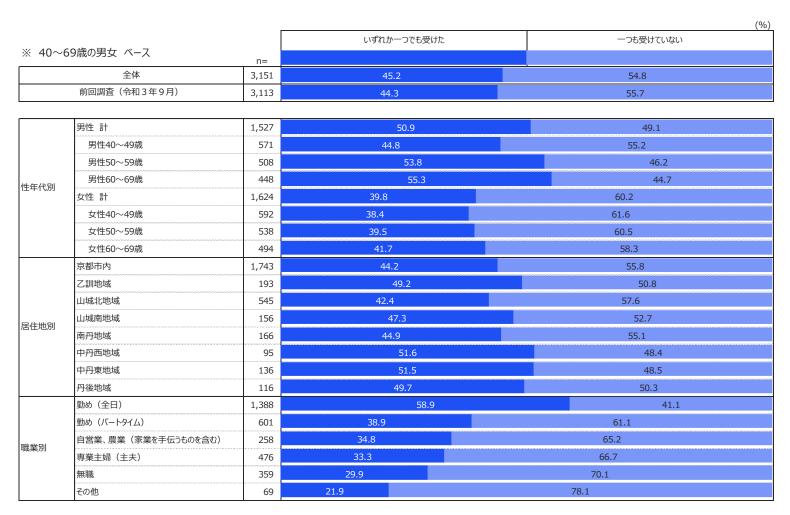


Q6 3 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/胃がんリスク検査、ABC検査(SA)



胃がん検診(国民生活基礎調査と同条件)の受診率

国民生活基礎調査と同条件の胃がん検診の受診率は45%。前回調査と同水準。 性年代別では、男性60~69歳で55%と最も高い。居住地別では、中丹西地域、中丹東地域で52%と高い結果となっている。



※ いずれか1つでも受けた人: 「胃部エックス線検査(バリウム検査)」「胃内視鏡検査(胃カメラ検査)」「胃がんリスク検査、ABC検査」のいずれか1つでも受けた人

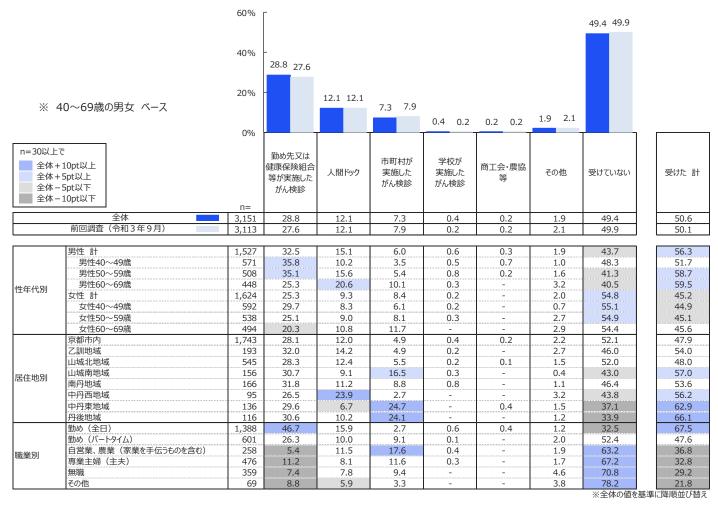


肺がん検診「胸部エックス線検査(レントゲン検査)」の受診率

胸部エックス線検査(レントゲン検査)の受診率は、全体で51%と約半数が受診している。

受けた場所は「勤め先又は健康保険組合等が実施したがん検診」が29%で最も高い。

性年代別では男性60~69歳で60%と最も高い。一方、女性40~49歳では45%と低い。居住地別では丹後地域で66%と最も高い。

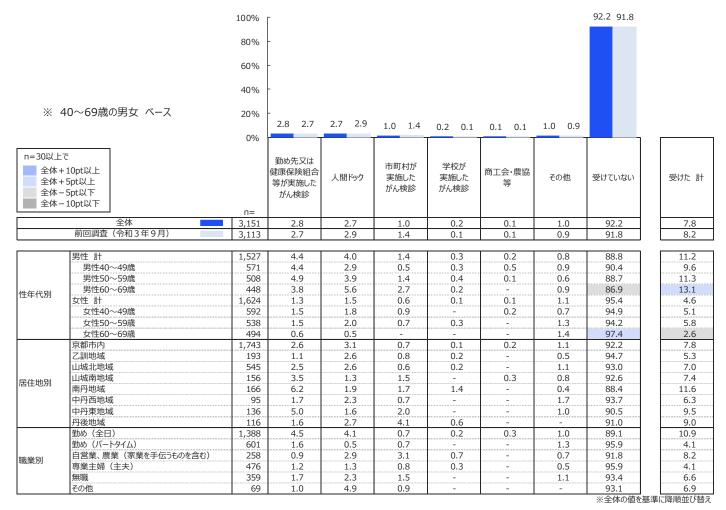


O6 4 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/胸部エックス線検査(レントゲン検査)(SA)



肺がん検診「喀痰細胞診」の受診率

喀痰細胞診の受診率は、全体で8%と1割を下回る水準。職業別では勤め(パートタイム)と専業主婦(主夫)の受診率が4%にとどまる。 ※喀痰細胞診の対象者は指針において「原則として50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)600以上の者」とされており 受診率は低いものと考えられる。



Q6 5 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/喀痰細胞診(SA)

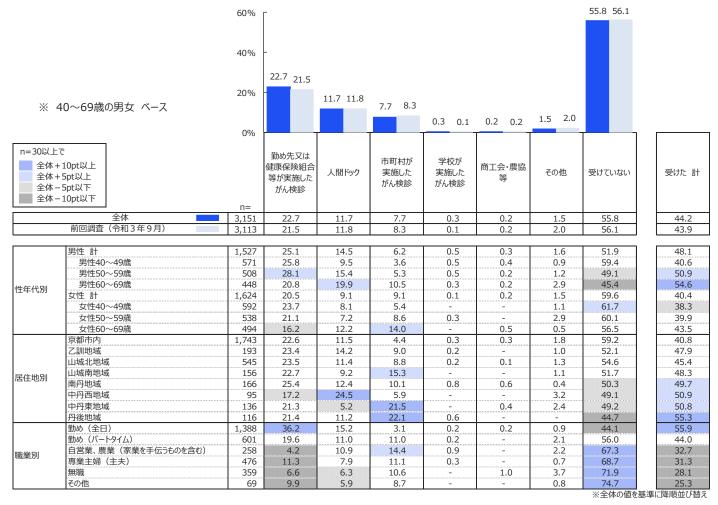


大腸がん検診「便潜血検査」の受診率

便潜血検査の受診率は、全体で44%。

受けた場所は「勤め先又は健康保険組合等が実施したがん検診」が23%で最も高い。

性年代別では男性60~69歳、居住地別では丹後地域で55%と最も高い。

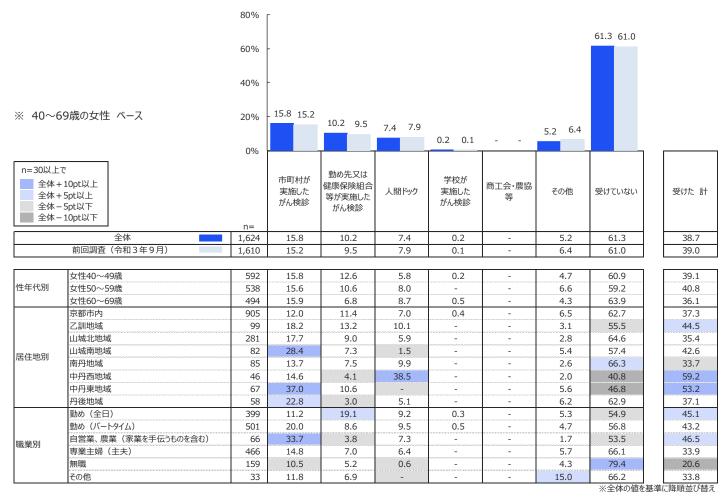


Q6 6 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/便潜血検査(SA)



乳がん検診「乳房エックス線検査(マンモグラフィ)」の受診率

乳房エックス線検査(マンモグラフィ)の受診率は、全体で39%。 受けた場所は「市町村が実施したがん検診」が16%で最も高い。 居住地別では、中丹西地域で59%と最も高い。



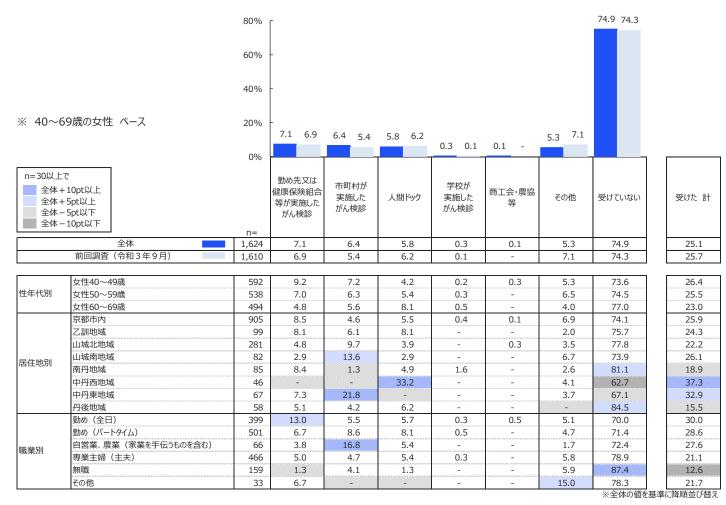
Q6 7 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/乳房エックス線検査(マンモグラフィ)(SA)



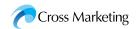
乳がん検診「乳房超音波検査(エコー)」の受診率

乳房超音波検査(エコー)の受診率は、全体で25%。

居住地別では、「乳房エックス線検査」と同様に中丹西地域で37%と最も高い結果となっている。



Q6 8 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/乳房超音波検査(エコー)(SA)

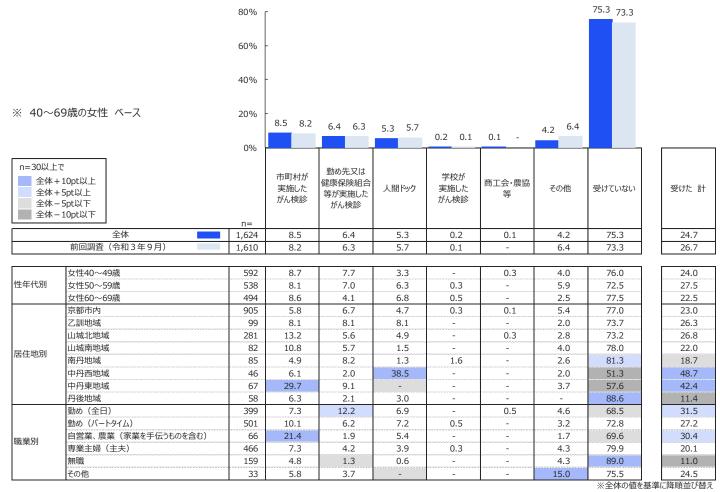


乳がん検診「乳房視触診検査」の受診率

乳房視触診検査の受診率は、全体で25%。

受けた場所は「市町村が実施したがん検診」が9%で最も高い。

居住地別では、「乳房エックス線検査 |「乳房超音波検査 |と同様に、中丹西地域で49%と最も高い。

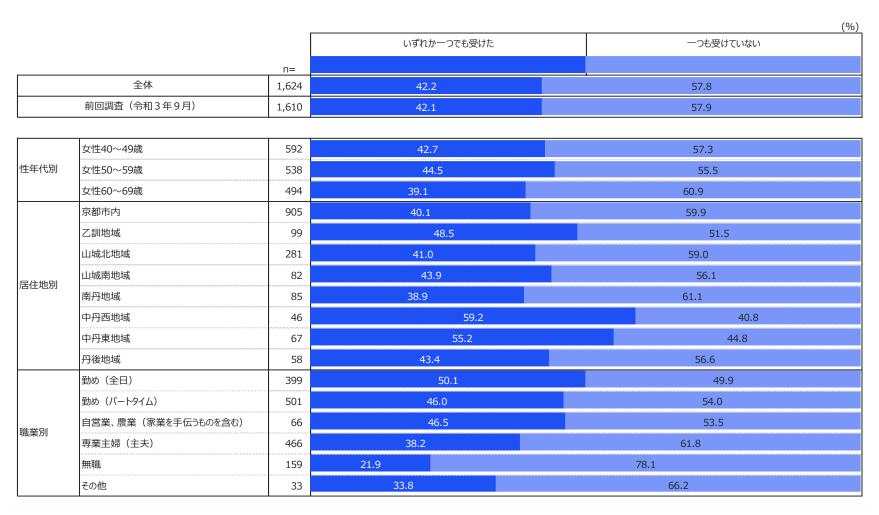


Q6 9 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/乳房視触診検査(SA)



乳がん検診(国民生活基礎調査と同条件)の受診率

国民生活基礎調査と同条件の乳がん検診の受診率は42%。前回調査と同水準。年代別では50~59歳で45%、居住地別では中丹西地域で59%と最も高い。



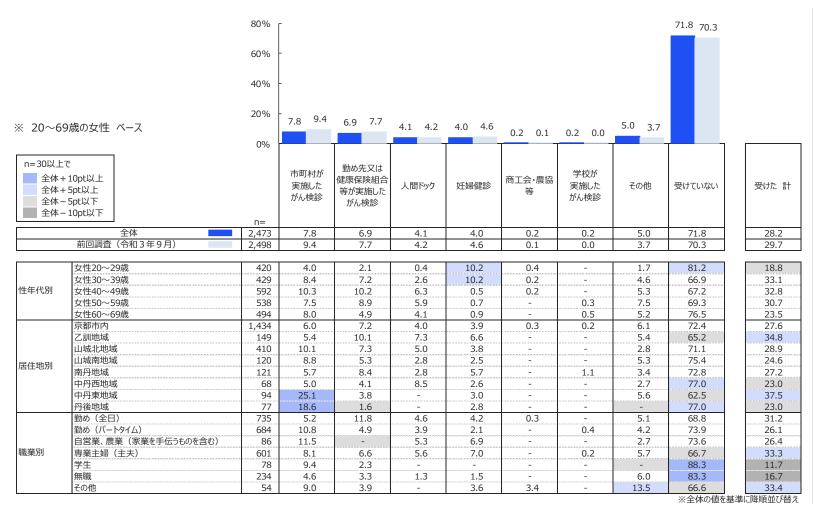
※ いずれか1つでも受けた人:「乳房エックス線検査(マンモグラフィ)」「乳房超音波検査(エコー)」「乳房視触診検査」のいずれか1つでも受けた人



子宮頸がん検診「細胞診検査」の受診率

細胞診検査の受診率は、全体で28%。

年代別では、30~39歳で33%と最も高い。一方、20~29歳では19%と他の年代と比較して低い。 居住地別では、中丹東地域で38%と最も高い。



Q6 10 次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。それぞれのがん検診の検査ごとに、あてはまるものについてお答えください。/細胞診検査(SA)

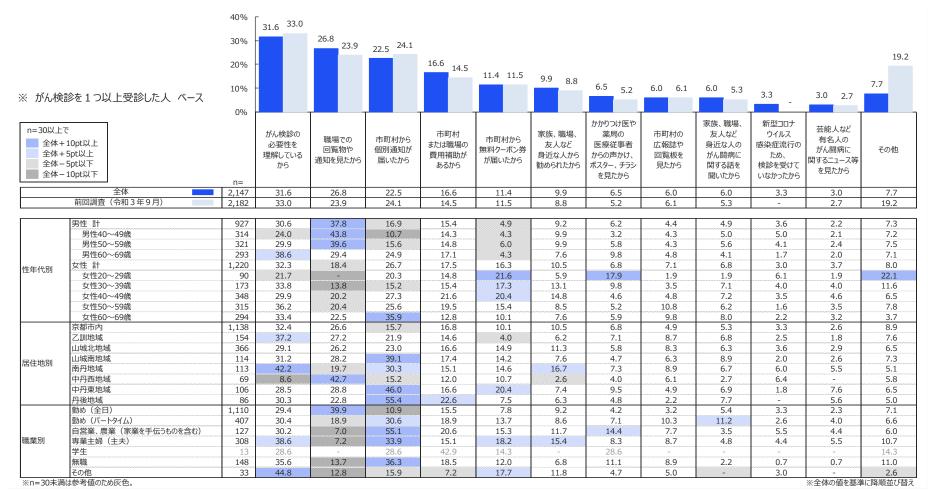


がん検診を受けたきっかけ (複数回答)

がん検診を1つでも受けたきっかけは、「がん検診の必要性を理解しているから」が32%で最も高い。

以下、「職場での回覧物や通知を見たから」「市町村から個別通知が届いたから」と続く。

「職場での回覧物や通知を見たから」は男性で高い。また、「市町村から個別通知が届いたから」は女性60~69歳で36%と高い結果となっている。「その他」は女性20~29歳で22%と高い結果となったが、内訳としては「妊婦健診」が多かった。

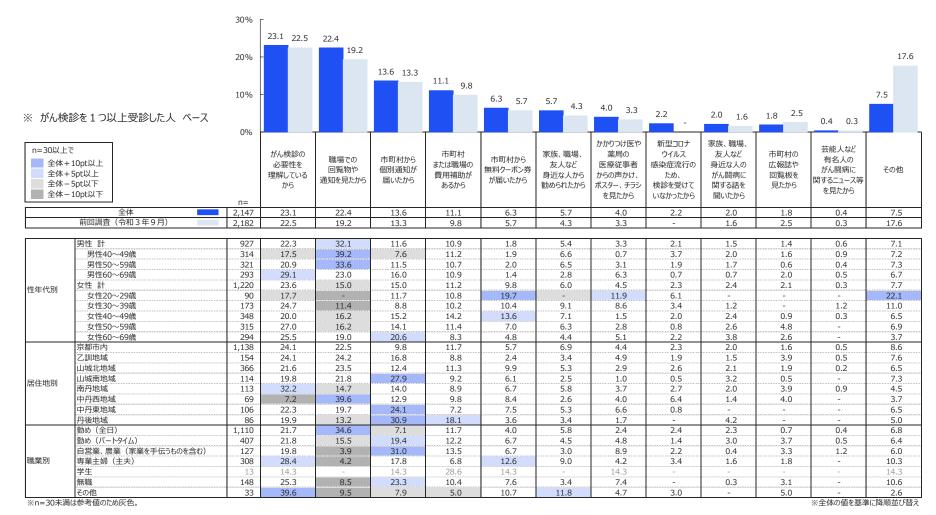


Q7 Q6でがん検診を1つでも「受けた」と回答した方にお伺いします。がん検診を受けたきっかけについて、あてはまるものをすべてお答えください。/受けたきっかけであてはまるもの(MA)



がん検診を受けたきっかけ(単一回答:最もあてはまるもの)

がん検診を1つでも受けたきっかけ(最もあてはまるもの)も、「がん検診の必要性を理解しているから」が23%で最も高い。 以下、「職場での回覧物や通知を見たから」が22%、「市町村から個別通知が届いたから」が14%で続く。 複数回答と同じく、「職場での回覧物や通知を見たから」は男性で、「市町村から個別通知が届いたから」は女性60~69歳で高い結果となっている。



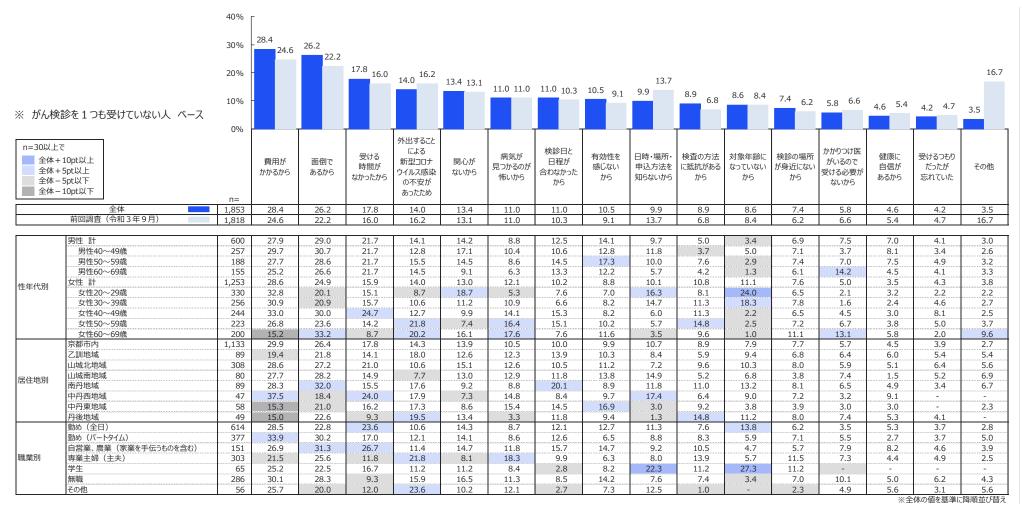
Q8 Q6でがん検診を1つでも「受けた」と回答した方にお伺いします。がん検診を受けたきっかけについて、最もあてはまるものを1つ選んでください。/最もあてはまるもの(SA)



がん検診を受けなかった理由 (複数回答)

がん検診を1つも受けていない人にがん検診を受けなかった理由をきいたところ、「費用がかかるから」が28%で最も高い。 以下、「面倒であるから」が26%で続く。

女性60~69歳で「面倒であるから」が33%で最も高いほか、女性50代以上で「外出することによる新型コロナウイルス感染の不安があったため」が高い。

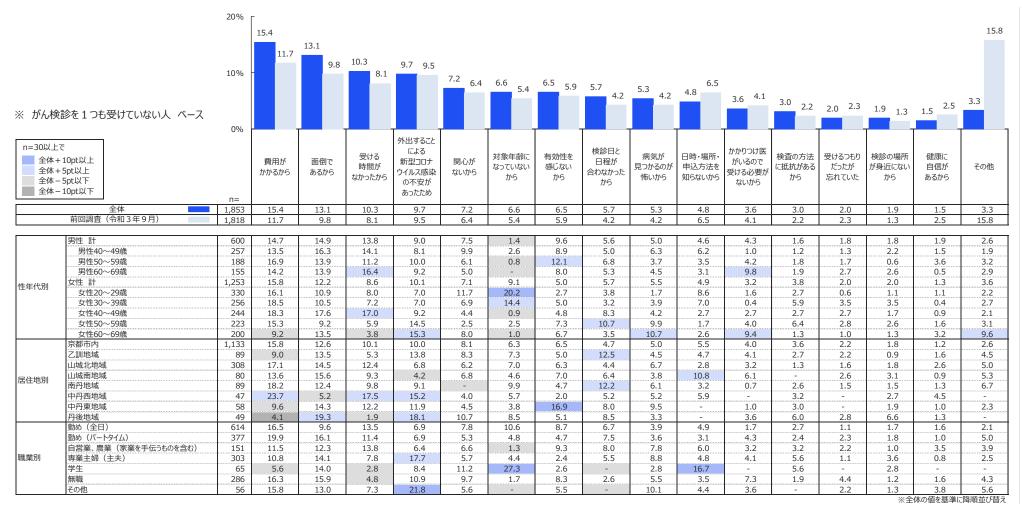


O9 O 6 でがん検診を 1 つも「受けていない」と回答した方にお伺いします。 がん検診を受けなかった理由について、あてはまるものをすべてお答えください。 / 受けなかった理由であてはまるもの(MA)



がん検診を受けなかった理由(単一回答:最もあてはまるもの)

がん検診を受けなかった理由(最もあてはまるもの)も、「費用がかかるから」が15%で最も高い。 以下、「面倒であるから」「受ける時間がなかったから」「外出することによる新型コロナウイルス感染の不安があったため」と続く。 女性60~69歳で「外出することによる新型コロナウイルス感染の不安があったから」が最も高い結果となっている。



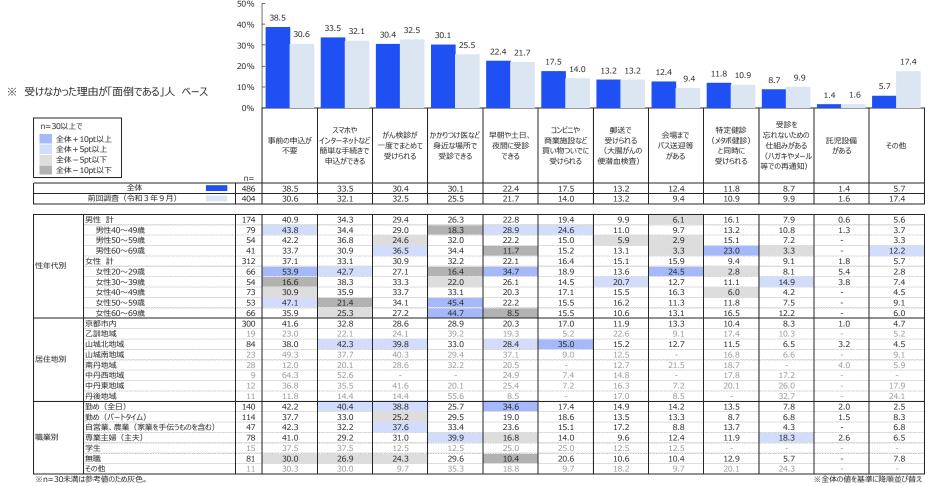
Q10 Q6で受診対象となる全てのがん検診について「受けていない」と回答した方にお伺いします。がん検診を受けなかった理由について、最もあてはまるものを1つ選んでください。/最もあてはまるもの(SA)



がん検診を受けようと思う施策

未受診理由について「面倒であるから」を選択した人にがん検診を受けようと思う施策をきいたところ、前回調査では3番目に高かった「事前の申込が不要」が39%で最も高いものとなった。

以下、「スマホやインターネットなど簡単な手続きで申込ができる」「がん検診が一度でまとめて受けられる」といった「簡便性」が上位を占める。 「事前の申込が不要」は女性20代で、「かかりつけ医など身近な場所で受診できる」は女性50代以上で高い結果となっている。



Q11 Q9で「面倒であるから」と回答した方にお伺いします。どのような支援があれば受けようと思いますか。あてはまるものをすべてお答えください。/受けようと思う支援であてはまるもの(MA)





Partnering for your best decisions すべては、お客様の最良の決断のために



